

2021年3月11日

各 位

公益社団法人 全日本病院協会
会 長 猪 口 雄 二
医 療 従 事 者 委 員 会
委員長 井 上 健一郎

2021年度「第19回病院事務長研修コース（オンライン講座）」の開催について

平素より全日本病院協会の活動につきまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催中止となりました病院事務長研修コースにつきまして、2021年度は全面オンラインで開催する運びとなりました。

当研修は病院事務長を対象として開催しており、今回の開催で第19回目を迎えます。カリキュラムは、医療政策の動向や経営戦略、組織管理、財務会計・管理会計、院内コミュニケーション、病院管理機能、人材マネジメント、経営計画策定、共通課題検討など多岐に亘り、評価試験に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

なお、2021年度はオンライン講座としたため、これらのカリキュラムを病院やご自宅で受講することが可能となりました。

2019年度、受講いただいた病院の理事長・院長の先生方からは、「今回の研修で学んだことを今後の病院運営に活かして欲しい。また、他の多くの病院の事務長との人間関係も出来たようなので情報の収集等、活かしてください」（協立病院 院長 佐藤 幸宏）、「綿密な分析で明らかになった問題点は的を得たものであり、問題点を改善するためのプランにも全く異存はない。安心してこの計画に則り実行するのみ」（秦病院 理事長・院長 秦洋文）と、当研修会の評価をいただいております。

詳細につきましては、今回同封いたしますパンフレットをご高覧いただき、是非ともご参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

参加をご希望の方は、**5月6日（木）までにFAXにて参加申込書をご送付ください。**
多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

<p><お問い合わせ先> 公益社団法人全日本病院協会 病院事務長研修コース担当 〒101-8378 東京都千代田区神田猿樂町2-8-8 住友不動産猿樂町ビル7階 E-mail : jyuujisya@ajha.or.jp ホームページ http://www.ajha.or.jp/</p>

第19回 病院事務長研修コース 参加のお勧め (病院管理士認定)

公益社団法人 全日本病院協会
会長 猪口雄二

全日本病院協会は、国民に安全で質の高い医療を医療人が誇りと達成感を持って提供できるような環境整備を行う事を目的に活動しております。

さて、皆様ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症の拡大につきましては、変異種の発生も加わり、2回目の緊急事態宣言(2021年1月8日)が出され、医療従事者へのワクチン接種は始まりましたが、いまだ収束への見通しが立たない状況でございます。

近年の我が国の現状といたしまして、2025年には団塊の世代が75歳以上という高齢化の進展に伴う大きな変化を見据え、医療介護総合確保推進法による改革が進められており、高度急性期から在宅医療まで、患者の状態に応じた適切な医療を、地域において効果的かつ効率的に提供する体制を整備する必要性が唱えられている中で、今回の世界的規模の新型コロナウイルスの感染拡大は、まさに未知の領域であり、その影響はいまだ計り知れません。

このような医療機関を取り巻く大きな変化に対応するには、医療機関の経営の一翼を担う事務長職の役割が非常に重要です。事務管理部門の長である事務長職には、当該業務に係る必要な基本知識はもとより、情報や質の管理にいたる幅広い分野にわたっての見識とマネジメントスキルが求められ、地域における医療提供の将来像を見すえた経営改革を提起し、経営計画の策定、そしてそれを実際に現場で実行していく能力を高めていくことが期待されております。

今回で第19回を迎える本研修は、新型コロナウイルス感染症の関係から、全面オンラインでの開催とさせていただきます。カリキュラムは、病院経営に必要な基本知識から、病院会計制度の現状、事務長として必要なコーチングとファシリテーションの基礎と応用、院内業務の再設計、経営改革計画の策定、共通課題検討など、事務長職に必要とされる幅広い分野を網羅しました。また、過去の受講生の声を反映させながらカリキュラムを毎回更新しており、より実践的な能力を身につけることができる内容となっております。

本研修では、職能練磨のための講義・演習等を行い、全受講生が「自院の経営計画」を策定し、その経営計画を実行する上での課題を共通課題として検討します。さらに、評価試験に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

各病院におかれましては、すでに事務長の育成・強化のために種々ご配慮をなされてきておられると思いますが、現下の厳しい病院経営環境の中、健全な病院経営・管理の維持・向上のために、皆様からの積極的なご参加をお待ち申し上げます。

 公益社団法人 全日本病院協会

全日本病院協会 医療従事者委員会



第19回 (2021年度) 病院事務長研修コース (オンライン講座) (病院管理士認定)

受講のご案内

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

受講要件

- 受講者は現在所属している施設での職歴1年以上の病院事務長、またはこれに準ずる職歴2年以上の経験を有する方で、理事長・院長が適格と認めた方であること(各施設1名)。
- 受講者は研修会において自院の経営健全化計画を作成する為、自院の経営指標や財務諸表及び経営情報を研修会内において開示が可能であり、理事長・院長に経営戦略を提言できること。
- 受講者は管理者が当研修会の受講を認めた者であること。

開講期間/2021年5月~2021年11月
全14単位、各単位1日間、9:00~17:20

受講料金/全日本病院協会 会員施設職員 全14単位 350,000円(税込:385,000円)
全日本病院協会 非会員施設職員 全14単位 450,000円(税込:495,000円)

病院管理士認定について/
本研修では、以下の要件を満たした方を病院管理士として認定いたしております。
○評価試験に合格すること。
○全14単位中、13単位以上出席すること。欠席は1単位のみ可としますが、第10単位~第14単位の受講は必須とします。

受講定員/48名

申込締切/2021年5月6日(木)
※定員に達し次第、受付を終了させていただく場合がございます。

その他/Zoomを使用したオンラインでの研修になります。つきましては、有線LANで繋がったパソコンをご用意ください。研修会前に事前の接続テスト等の実施を予定しております。

評価試験合格者には、全日本病院協会が『病院管理士』の認定証を発行

事務長『基本講座』

病院経営概論	医療行政の動向を踏まえ、病院経営管理者としての事務長の果たすべき役割を認識します。また、事務長としての役割を全うするために必要な論理的思考法を学びます。加えて、各事務長間の交流を深め、相互研鑽を図ります。	■内容：医療制度改革と病院の対応方向、事務長に求められる役割と能力、よい事務長の条件、問題解決の思考プロセス、病院経営実態調査結果に基づく現状の問題点、マネジメント課題 他
経営戦略 組織管理	経営戦略の体系と戦略実現のための組織管理のあり方を学びます。病院の経営を考えるとときに、最上位の経営理念から、ビジョン、戦略、経営計画という戦略体系の流れを理解します。そして、構築した戦略を実現するための組織の設計と統制の方法を学びます。	■内容：経営理念、行動規範、ビジョン、経営戦略、事業戦略、ビジネスモデル、経営計画、業績管理、組織設計、ホールディング化、方針管理、部門別日常業務管理、事業承継、BCP 他
財務会計 管理会計	病院経営の基礎となる医療会計制度の基本を学びます。事務長に求められる財務の基本を学び、財務指標を通じて、病院経営の実態を理解して、改善すべき点を特定できるようにします。具体的には、制度会計の分析を通じて病院の問題点の抽出と改善検討を行います。	■内容：財務諸表の構造の理解、財務3表（P L、B S、C S）の関連、財務指標の構造と分析視点、損益分岐点分析、予算管理、投資対効果評価、診療科別収支計算 他
病院管理機能 人材マネジメント	事務・管理部門で求められる病院の管理機能について習得します。人材マネジメントの全般、患者の獲得を目指したマーケティングの基本、就業規則や病院法務、リスク管理や危機管理、病院としての広報について学びます。	■内容：定員設定、人材育成、人事評価、等級制度、賃金制度、ナレッジマネジメント、ABC人材マネジメント、広報、法務3類型（治療法務・予防法務・戦略法務）、就業規則 他
院内 コミュニケーション	院内コミュニケーションの円滑化と職場の活性化に向け、事務長として必要な『コーチングとファシリテーションの基礎と応用』について、演習を中心に習得します。縦割り組織の中での有効なコミュニケーションのスキルを身につけます。	■内容：マネージャーに求められる人間関係構築スキル、聴き方、コミュニケーション、職員の動機づけと職場活性化、迷惑行為・クレーム対応、コーチング、会議設計とファシリテーション 他

『改革実習』 〔病院改革計画策定実習〕

病院改革の 基本的考え方	病院経営改革の基本構成とその策定方法を学びます。将来構想を実現する課題解決と現在の問題を解決するためのプロセスを理解します。様々な場面での議論を活発にして、意義あるものにするためのディベート視点を実習で学びます。	・病院改革の考え方 ・問題解決の基本 ・課題解決の基本 ・ディベート実習
病院将来構想	自院の将来におけるありたい姿を構想します。ありたい姿の構想にあたり、医療や介護を取り巻く環境の情勢を数値で認識します。構想の検討にあたり、医療法人として目指す方向、医療法人における自院の位置づけを踏まえ、戦略の基本方向を設定します。	・医療の環境情報 ・介護の環境情報 ・法人の将来構想 ・病院の将来構想
病院外部環境分析	自院において構想した医療法人として目指す方向、医療法人における自院の位置づけを踏まえ、自院を取り巻く診療圏における人口の動向や競合施設の動向を定量的に分析します。人口動態や社会環境変化などのマクロ環境と患者の動態や診療圏、競合施設などのミクロ環境を分析します。	・法人・病院将来構想 ・組織構想 ・マクロ/ミクロ環境 ・診療圏分析
病院内部環境分析	自院の財務指標を統計値やグループメンバーの病院と比較して、分析します。自院の収支の実態を構造的に整理して、収支改善の余地を検討します。また、病院経営に影響を与えるマクロとミクロの環境を分析します。自院の内部環境を、病院機能と経営資源、組織風土の3側面から分析します。	・財務指標分析 ・経営機能分析 ・経営資源分析 ・組織風土分析
課題設定	法人の将来像、その将来像における病院の将来像を明確にします。病院の将来像を実現するための課題を整理します。マクロやミクロの環境分析の結果から導き出される課題や診療圏分析によって導き出される課題も整理します。将来構想や整理した課題を目で見てわかるように整理します。	・戦略基本方向設定 ・将来構想実現課題 ・環境分析課題 ・将来構想図解化
病院将来構想発表 共通課題設定	自院の将来構想、戦略の基本方向、その実現のための課題で構成する自院の改革計画について相互発表を行い、代表者は全体発表します。全受講者の課題の中から、共通する課題を8つ選定して、課題別に班を編成します。以後は、共通課題を検討していきます。	・病院構想全体発表 ・医療行政最新動向 ・共通課題の設定 ・共通課題の班編成
共通課題検討	共通課題は、受講者全員が自院に持ち帰って、活用できるように検討し、整理します。そのため、病院の種別や特性を踏まえた課題の解決方法策を幅広く考えます。加えて、第三者がみれば、共通課題をどのように解決すればよいか分かるように整理します。	・改革計画提出 ・共通課題の構造化 ・汎用的解決策立案 ・わかりやすい資料構成
病院共通課題 全体発表	1日目は、病院共通課題に関する全体討議を行い、課題解決策を汎用的なものに仕上げ、さらに、第三者が見ても分かるようにします。2日目は、共通課題の検討内容を全員に発表して、講師の講評に基づいて解決策の幅広い視点を学びます。	・共通課題の仕上げ ・共通課題の発表 ・共通課題の共有

プログラム

	9:00-10:20	10:30-11:50	13:00-14:20	14:30-15:50	16:00-17:20
第1単位 5月15日 (土)	オリエンテーション ・事務長への期待 ・プログラム説明 ・自己紹介	■基本講座 医療政策の動向 と現場の対応①	■基本講座 医療政策の動向 と現場の対応②	□改革実習 自院の将来像の構想	□改革実習 問題抽出、設定、 構造化
第2単位 5月29日 (土)	■基本講座 経営戦略	■基本講座 経営戦略	■基本講座 経営戦略	◆理解度テスト① □改革実習 4次元の問題設定	□改革実習 法人と病院の将来 構想
第3単位 6月12日 (土)	■基本講座 組織管理	■基本講座 組織管理	■基本講座 組織管理	□改革実習 損益分岐点 部門別収支計算	□改革実習 費用削減 収支シミュレー ション
第4単位 6月26日 (土)	■基本講座 財務会計	■基本講座 財務会計	■基本講座 財務会計	◆理解度テスト② □改革実習 外部環境分析	□改革実習 診療圏分析 3C・競合分析
第5単位 7月10日 (土)	■基本講座 管理会計	■基本講座 管理会計	■基本講座 管理会計	□改革実習 内部環境分析 (機能・資源)	□改革実習 内部環境分析 (風土)
第6単位 7月24日 (土)	■基本講座 病院管理機能	■基本講座 病院管理機能	■基本講座 病院管理機能	◆理解度テスト③ □改革実習 財務分析	□改革実習 強み/弱み点検 理念浸透方法
第7単位 8月7日 (土)	■基本講座 人材マネジメント	■基本講座 人材マネジメント	■基本講座 人材マネジメント	□改革実習 入退院経路分析 診療圏分析	□改革実習 人材マネジメント 総点検
第8単位 8月28日 (土)	■基本講座 院内コミュニケーション	■基本講座 院内コミュニケーション	◆理解度テスト④ □改革実習	□改革実習 業務効率化 ナレッジマネジメント	□改革実習 課題抽出 課題体系化
第9単位 9月4日 (土)	■基本講座 院内コミュニケーション	■基本講座 院内コミュニケーション	□改革実習 改革計画作成方法①	□改革実習 改革計画作成方法②	□改革実習 改革計画作成方法③
第10単位 9月18日 (土)	■基本講座 院内コミュニケーション	■基本講座 院内コミュニケーション	◆理解度テスト⑤ □改革実習 改革計画留意点	★発表 自院改革計画 グループ内発表①	★発表 自院改革計画 グループ内発表②
第11単位 10月2日 (土)	★発表 自院改革計画 全体発表①	★発表 自院改革計画 全体発表②	★発表 共通テーマ発表前半	□改革実習 共通テーマの検討 方法	□改革実習 テーマの構造化 検討分担設定
第12単位 10月16日 (土)	□改革実習 テーマの構造と テーマ名設定	□改革実習 グループ内テーマ 検討①	□改革実習 グループ内テーマ 検討②	□改革実習 グループ内テーマ 検討③	□改革実習 グループ内テーマ 検討④
第13単位 11月6日 (土)	□改革実習 テーマ別講師指導①	□改革実習 テーマ別講師指導②	□改革実習 テーマ別講師指導③	□改革実習 テーマ別講師指導④	□改革実習 最終プレゼンの進め 方解説
第14単位 11月27日 (土)	☆発表準備 グループ別発表準備	☆発表準備 グループ別発表準備	★発表 共通テーマ発表①	★発表 共通テーマ発表②	閉会の挨拶

2021年度 第19回病院事務長研修コース（病院管理士認定） 受講申込書

		記入日	年	月	日	
受講者氏名	ふりがな			年齢	印	
E-mailアドレス (個人)	※事務局からのご連絡は主にE-mailにて行います。記載の無いものは無効					
役職名	左記役職での 経歴年数		現在の病院での 勤務年数		他の病院も合わせ た勤務年数	
	年	ヶ月	年	ヶ月	年 月	
病院名					会員 ・ 非会員	
病院所在地	〒 -					
T E L	F A X					
ホームページURL						
経営主体						
種 別	一般 ()床	医療療養 ()床	介護療養 ()床	精神 ()床	感染 ()床	結核 ()床
理事長名			院長名			
応募理由 (いずれかに○)	1. 理事長・院長より勧められて		2. 自身で理事長・院長へ提案			
	3. 他の人に勧められて(推薦者)		4. その他()			
志望動機	例)この研修を受講して、理事長院長に自信をもって経営計画に提案したい など					

<応募要項>

1. **受講要件**
同封のパンフレットをご参照下さい。
2. **お申込み方法**
 - ①本申込書に必要事項をご記入の上、「承諾書及び誓約書」と一緒にFAXにて事務局までお送り下さい。
 - ②申込書受理後、「確認書(受講料お振込みのご案内)」をFAXにてご送付致しますので、内容をご確認のうえ受講料を2021年5月6日(木)までにお振込下さい。受講料の返金につきまして、2021年5月6日(木)以降に参加をキャンセルされた場合は全額返金できかねますのでご了承ください。
申込書をFAX送信後7日たって確認書が届かない場合は下記の事務局までご連絡下さい。
 - ③おって、受講者の簡単な経歴等をお伺いする為の「研修前調査票」をメールにてお送りいたしますので、必要事項をご記入の上ご返信下さい。
3. **お申し込み締切日**
2021年5月6日(木)※定員に達し次第、受付を終了させていただくことがございます。
4. **病院情報及び調査票情報の利用目的**
 - ①研修において、自院の課題を分析する為に病院の情報を利用する事がございますが、研修の関係者とは機密保護の契約を結んでおりますので、病院の情報を本研修の目的以外に使用することはございません。
※上記に基づき、別紙の「承諾書及び誓約書」にご捺印の上、本申込書と一緒にFAXにてお送りください。
 - ②研修前にご提出いただく「調査票」は、講師が受講者情報を把握する為、また、受講者間での交流の為に利用します。調査票の内容を、本研修の目的以外に使用することはございません。
5. **オンライン研修について**
Zoomを使用したオンラインでの研修になります。つきましては、有線LANで繋がったパソコンをご用意ください。研修会前に事前の接続テスト等の実施を予定しております。詳細につきましては後日、メールにてご案内いたします。
6. **お申込み、お問合せ先**
公益社団法人全日本病院協会 事務局 病院事務長研修コース担当
〒101-8378 東京都千代田区神田猿樂町2-8-8 住友不動産猿樂町ビル7F
FAX:03-5283-7444 E-mail : jyujisya@ajha.or.jp

承 諾 書

公益社団法人全日本病院協会が主催する「第19回病院事務長研修コース」において、研修会の目的の範囲内において、当施設から受講する者が、当施設の院内データを使用することを承諾いたします。

2021年__月__日

施設名：_____

代表者氏名：_____ 印

誓 約 書

私は、公益社団法人全日本病院協会（以下、全日病）が主催する「第19回病院事務長研修コース」において知り得た他施設の情報を、当研修会の目的以外で使用しないことを誓約いたします。

2021年__月__日

施設名：_____

受講者氏名：_____ 印

上記承諾書及び誓約書にご署名、捺印いただき、受講申込書と一緒にFAXにてお送りください。

※1 承諾書につきましては代表者氏名及び代表者印を捺印ください。

※2 誓約書につきましては受講者氏名及び受講者の認印を捺印ください。



医療法人一灯の会
沖縄中央病院
久場 チエミ

「病院全体が学べる研修です」

研修は将来構想・経営改革を進めるための発想の仕方から、課題・問題の抽出と解決の手法等、多岐に亘るものでした。自院の問題点、課題が明確になり、また自院の強みにも改めて気づくことができ、視野が広がったと実感しています。

毎回の宿題は大変でしたが、院内全部署で取り組むものが多かったため、院内コミュニケーションの機会になり、参加した私だけでなく病院全体が考え、学ぶ機会にもなりました。

「もっと早く受講すればよかった」受講しての感想です。自院は単科の精神科病院であり、応用が難しいのではないかと感じていましたが、診療科に関係なくすぐ実践・活用できる内容でした。精神科病院の方にも是非、参加をお勧め致します。

これから将来構想の実現に向けて研修で学んだことを継続して実践し、病院に貢献できるよう更に努力していきたいと思えます。

最後に講師の先生方、18期生の皆様、大変お世話になりました。皆様のおかげで研修を修了する事ができ、感謝しております。ありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願い致します。



特定医療法人東筑会
東筑病院
黒田 行雄

「フィードバックが私の使命」

私は、病院事務長業務の基礎からしっかり学びたいとの思いでこの研修に参加しました。

研修の内容はとても濃く、毎回の課題提出に加え、理解度テストもあり日頃の業務と並行して課題に取り組みました。当初は、学習のペースを掴めずに理解度テスト不合格となり、追試を受けることになりましたが、そのことが功を奏し、より理解力が向上しました。

研修期間中は、気力・体力共に大変でしたが、いざ終わってみると事務長職として決して欠かすことが出来ない内容ばかりで、とても充実した病院事務長研修でした。

また、講師の先生方を始め、全日病事務局の方々、18期生の皆様には大変お世話になりました。ここで出会った仲間がかけがえのない私の財産となりました。これからも引き続き、よろしくお願ひします。

最後に、この研修で学んだスキルを自院で活かし、フィードバックすることが私の使命ですので、これから先も頑張ります。皆さん本当にありがとうございました。



医療法人慈繋会付属
土屋病院
土屋 繁太郎

「私は、この研修を強くお勧め致します。」

日常の業務をこなしながらの受講は確かに楽ではありませんでしたが、ここまで腑に落ちた研修は今までありませんでした。尺の中で述べれば、今まで漠然と持っていた病院を良くしたいという考えを様々なツールを用いて整理し、体系的に組み立てる「方法」を教えて頂いたという感じでしょうか。修了式で先生方が仰った「研修を終えた今がスタート」ということも強く感じます。本研修で学んだことを実践し、短期間で損益をV字回復させた先輩の体験談もありました。あとは私がその「方法」を使いこなし、成果が出せるかどうかです。

そして何より、全国各地にできた約50名の仲間が大きな財産となりました。助けを求めたら、きっと手を差し延べて下さるでしょうし、私も必ずそうします。これほど心強いこともありません。

最後になりましたが、池上先生はじめ、萩原先生、田中先生、事務局の方々、そして18期生の皆さまに心より御礼申し上げます。大変お世話になりました。



医療法人緑山会
周南高原病院
橋本 明宜

「充実した研修期間」

技術職からの異動で事務業務の経験が浅く、はじめはついていけるかととても不安でした。しかし、基本的な考え方や必要な知識を習得できるよい機会と思い、また上司からの後押しもあり当研修を受講しました。約9か月間、課題提出や単位テストと日常業務の中でこなしていくことはとても大変でしたが、病院経営に必要な基本概論、組織管理、財務、コミュニケーションスキル等、グループワーク・演習を通じて多くの内容を学ばせていただき知識を習得することが出来ました。また、事務長研修に参加しなければ会うことがなかった全国の病院から集まった受講者の方々との情報交換や検討会で皆さんの取り組み姿勢に刺激を受けました。第18期生の皆さまとネットワークが出来たことは、私にとって大きな財産となりました。最後に、池上教授はじめ、萩原先生、田中先生、全日病事務局の方々、第18期生の皆さまに大変お世話になりました。これからもこの交流を深めていけたらと思っています。



医療法人伯鳳会
赤穂中央病院
山田 剛士

「ありがたい姿を描けるようになる研修」

医療・介護業界の外部環境が急速に変化していく中で、我々のグループの事務部門の最適化を計れる人物になるという目標を掲げ研修に参加させていただきました。

研修はこれまでに得た知識が、病院のマネジメントでどこに位置しているか、その全体像の理解が進んでいく過程は非常に有意義で楽しいものでした。受講前は思い描けなかった、我々のグループの「ありがたい姿」を理事長に語れた事も非常に大きな経験となりました。

また、受講生の皆様とお話しする機会があり、マネジメントの具体的な事例の情報交換を行ったり、現在直面している問題の解決策をお互いの経験談から導けたりと、全国に心強い仲間が出来た事も非常に大きな財産となりました。

末筆となりましたが、池上教授をはじめ萩原先生、田中先生、事務局の皆様、そして第18期生の皆様、とても楽しい時間を共に過ごせた事に心から感謝を申し上げます。研修修了を始まりとし益々精進して参りたいと存じます。今後とも宜しくお願い致します。